

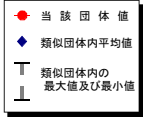
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

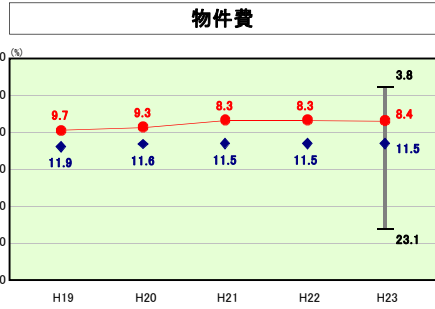
鳥取県三朝町

## 経常収支比率の分析

人口	7,146	人(H24.3.31現在)	実績赤字比率	-	%
面積	233.46	km <sup>2</sup>	実績公債費比率	15.2	%
歳入総額	4,511,216	千円	実収支比率	8.3	%
歳出総額	4,454,497	千円	市町村類型	H19 II-2 H20 II-2 H21 II-2 H22 II-2	
実収支差	36,084	千円			
標準財政規模	2,987,474	千円			
地方債現在高	3,946,190	千円			

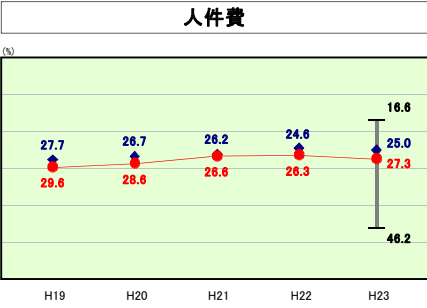


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



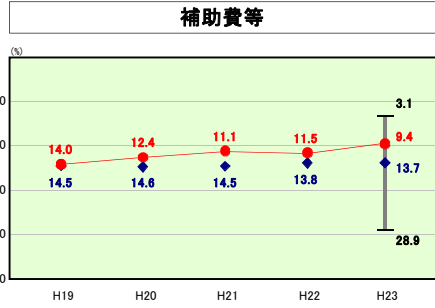
#### 物件費の分析欄

昨年に比較して0.1ポイント上がっていますが、類似団体平均との比較では3.1ポイント下回っています。電算処理委託料の増などにより昨年よりポイントは上がりましたが、事務事業の見直しや簡素・効率化による削減を今後も継続して行っていく予定です。



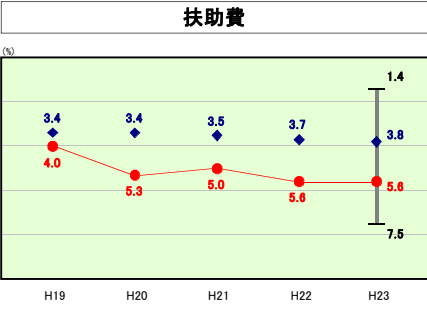
#### 人件費の分析欄

昨年に比較して1.0ポイント上がっており、類似団体平均に比較して2.3ポイント上回っています。職員の適切な定員管理により職員数は削減され、給与費相当分は減額となっていますが、共済負担金の増額がポイントが上がった要因として挙げられます。



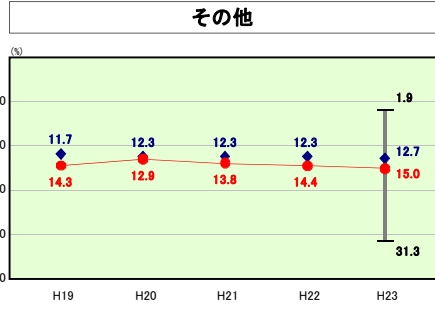
#### 補助費等の分析欄

昨年に比較して2.1ポイント下がっており、類似団体平均と比較すると4.3ポイント下回っています。これは、広域連合負担金の減額や林業整備事業費の減少などによるものです。



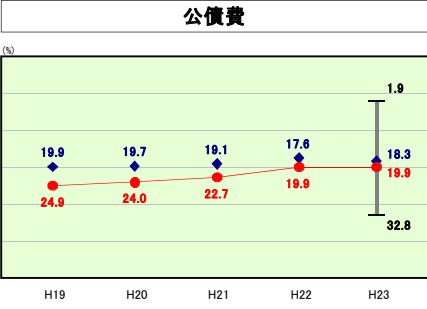
#### 扶助費の分析欄

昨年と同ポイントとなっており、類似団体平均より1.8ポイント上回っています。少子高齢化により社会保障関連経費は年々増加傾向が見込まれ、この財源確保や公的扶助の見直しも検討する必要があります。



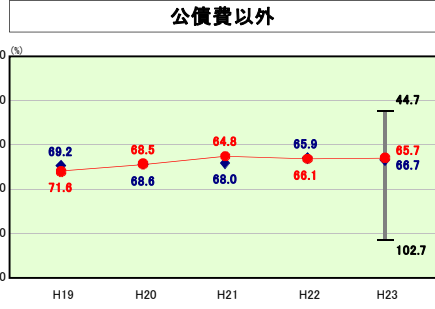
#### その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は昨年に比較して0.6ポイント上がっているのは他会計への繰出金の増加によるもので、介護保険・後期高齢者医療保険など給付費相当の繰出金は増額となっています。



#### 公債費の分析欄

昨年と同ポイントとなっており、類似団体平均より1.6ポイント上回っています。過去の大型事業の元利償還金は平成21年度をピークに減少となっており、過疎計画によるみさきこども園建設や橋梁新設事業などを控えています。同水準で推移する見込みです。



#### 公債費以外の分析欄

公債費以外に係る経常収支比率は、昨年に比較して0.4ポイント下がっており、類似団体平均に比較して1.0ポイント下回っています。広域連合への負担金は減額となっていますが、介護・後期高齢者医療保険などの給付費相当の繰出金は増額となっていることによるものです。